

警戒心の強い魚でも、おいしいエサには目がくらんで簡単に釣られてしまうことを「魚懸甘餌（ぎょけいかんじ）」といいます。甘い誘惑には注意しないと失敗しますよ、という例えです。詐欺のニュースを見るたびに「どうして信じちゃうんだろう?」「自分だけは大丈夫!」と思うことはありませんか?用心、また用心です。

知っここ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【国外財産調書の状況について】

所得税法に規定する「非永住者以外の居住者」は、その年の12月31日において5000万円を超える国外財産を有する場合、その財産の種類、数量、価額等を記載した国外財産調書を所轄税務署長に提出しなければなりません。国税庁の発表によると2021年分の提出状況は、総提出件数が12109件、総財産額は5兆6364億円で8年連続で増加しており、集計が始まった2013年以降いずれも最高となりました。財産の種類としては有価証券が最も多い3兆5695億円、次いで預貯金が7591億円、建物が4474億円の順となっています。この調書は自主的に自己の情報を記載し提出するものなので、特例措置が設けられています。期限内に提出した場合、所得税等の申告漏れが生じたときでも加算税が5%軽減されます。しかし期限内に提出がない場合、または提出した調書に記載すべき財産の記載がない場合は、その財産に係る所得税等の申告漏れが生じたときには、加算税が5%加重されるなどの措置があります。



光を放つ 名言コラム

【リスクリングよりアンラーン】

「今はリスクリングが盛んに言われていますが、それよりもアンラーンこそ求められているのではないのでしょうか」。作家の五木寛之氏が日経新聞のインタビューで「人生100年時代」について語った言葉です。リスクリングは新しい仕事のために必要な知識や技術を学ぶことで、アンラーンとは通用しなくなった知識や考え方を取り除くこと、とでもいえばいいのでしょうか。現在90歳の五木氏は、50歳の頃に仏教を学び「他力」という考え方を知って「自分が百八十度変わったように思います」と語っていました。「こうやったから成功した」「物事はこうあるべきだ」。人にはそれぞれ自分の考えがありますが、それらが普遍的なのか、時代によるものなのか、どうしてそう考えるようになったかを振り返ることはあまりないかもしれません。思考の棚卸しをして思い込みから解放されれば、自由な目で物事を見ることができそうです。

主婦川柳 @ 奥さまの細道

ビーチでは
まるで
バカ殿
日焼け止め
わたし、絶対に
焼かないから!

洋服の襟元や脇の下の汗染みが気になる季節です。着る前に汗染みができやすい部分にあらかじめスプレー式の洗濯のりを吹きかけておくと、のりが汗を吸収して汗染みを防げます。そのまま洗濯すれば、のりと一緒に汗も落ちるので部分洗いも不要になります。

知得する! 知恵袋

才人の言葉

できるかできないか
ではなく
やるかやらないか

ワールド・ベースボール・クラシックの監督として日本代表を世界一へと導いた栗山英樹の言葉。何事もやらなければ始まらない。ダメ元でもまずはやってみよう。

振り向けばあそこにも ここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【「私」か「私たち」か】

昭和という時代は、松下幸之助、本田宗一郎、稲盛和夫といった名経営者が活躍した一方、もう昭和の商売の常識はなかなか通用しないともいわれます。明暗を分けるのは時代ではなく、個々の人間性であるのは言うまでもありません。「ボス」と「リーダー」の違いを端的に言語化した、イギリスの高級百貨店チェーン「セルフリッジ」の創業者ハリー・ゴードン・セルフリッジの言葉を引用してみましょう。ボスは「私」と言うが、リーダーは「私たち」と言う。

ボスは失敗の責任を追及するが、リーダーは失敗の後始末をする（失敗から学ばせる）。ボスはやり方を知っているが、リーダーはやり方を教える（人を育てる）。ボスは恐怖をあおるが、リーダーは熱意を持たせる。ボスは時間通りに来いと言うが、リーダーは自ら時間前にやってくる。ボスは仕事を苦役に変えるが、リーダーは仕事をゲームに変える。ボスは間違いを非難するが、リーダーは間違いを改善する。ボスは権威に頼るが、リーダーは志をより所にする。ボスは「やれ」と命令するが、リーダーは「やろう」と言う（導く）。言われてみれば納得のことばかり。襟を正すことはあっても、そこに新しい発見はありません。しかしこれらの言葉が、今から100年前に言われたものだとしたら、身に染み方が少し変わってくる気がします。100年前から言われていることが今の時代でも通用して、現代人にも響くということは、人間に進歩がないのか、それとも普遍的な教示なのか。本質は常にシンプルで、シンプルがゆえに忘れがちです。果たして自分はボスかリーダーか。改めて問いかけてみたいものです。



ボスは失敗の責任を追及するが、リーダーは失敗の後始末をする（失敗から学ばせる）。ボスはやり方を知っているが、リーダーはやり方を教える（人を育てる）。ボスは恐怖をあおるが、リーダーは熱意を持たせる。ボスは時間通りに来いと言うが、リーダーは自ら時間前にやってくる。ボスは仕事を苦役に変えるが、リーダーは仕事をゲームに変える。ボスは間違いを非難するが、リーダーは間違いを改善する。ボスは権威に頼るが、リーダーは志をより所にする。ボスは「やれ」と命令するが、リーダーは「やろう」と言う（導く）。言われてみれば納得のことばかり。襟を正すことはあっても、そこに新しい発見はありません。しかしこれらの言葉が、今から100年前に言われたものだとしたら、身に染み方が少し変わってくる気がします。100年前から言われていることが今の時代でも通用して、現代人にも響くということは、人間に進歩がないのか、それとも普遍的な教示なのか。本質は常にシンプルで、シンプルがゆえに忘れがちです。果たして自分はボスかリーダーか。改めて問いかけてみたいものです。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【グローバルサウス】

南半球に位置するアジアやアフリカなどの新興国・途上国を指しており、北半球の先進国との対比で使用される。代表格であるインドは2023年1月に「グローバルサウスの声サミット」を主催し125カ国が参加している。2023年5月に開催された「G7広島サミット」では、グローバルサウスとの連携強化を図っている。

トナリの本棚

【夢と金】

芸人であり絵本作家としても知られる西野亮廣のビジネス書。「お金が尽きると夢が尽きる」など心に響く言葉が印象的です。夢を忘れないための一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>